


「省エネルギー学習会」					
会議年月日	29年3月3日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	筒井、小山、増永、石垣、平手、藤見、大前、青木、山田、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
平成29年3月度(第116回)省エネルギー学習会を開催した。					
「ガスの自由化について」(講師:京和ガス(株)会長 筒井義憲)					
1, 自由化の目的					
①天然ガスの安定供給=ガス導管網の相互接続により天然ガスを安定的に供給する体制を整える。					
②競争の活性化による料金抑制=独創的な経営戦略で料金抑制の形で利用者に還元される。					
③事業機会の拡大=他業種からの参入などを通してイノベーションを起こす。					
④天然ガスの利用拡大=導管網の新規整備、燃料電池など新たな利用方法を提案できる事業者を促す。					
2, 自由化の仕組み=別紙参照(資源エネルギー庁)					
3, 自由化で広がるサービス=別紙参照(資源エネルギー庁)					
4, これまでの自由化の流れ=別紙参照(資源エネルギー庁)					
5, 現状の課題					
①新規参入する小売事業者は23社(平成29年3月1日現在)あるが供給地域が限定されている。 (流山市に新たに参入する事業者はいない)					
②新規参入事業者は、大口ユーザーを主対象としており一般家庭への販売は限定的である。					
③既存の都市ガス事業者は209社(LPガス事業者は1, 452社)あるが、規模により自由化の影響は異なる					
・多数のLNG基地と大規模場導管網=3社(東京ガス、大阪ガス、東邦ガス)					
・小規模のLNG基地と一定規模場導管網=6社(北海道ガス、仙台市ガス、静岡ガスなど)					
・導管による卸で調達=119社(京和ガスほか)					
・タンクローリなどによる調達=81社					
6, ガスのCO2排出係数					
電力会社と比べ、ガス会社の違い					
による係数は余り変わらない。					
					
<次回予定> 平成29年4月7日(金)13:30~15:30 流山市生涯学習センター(3F)大会議室					
「かしわエコカンパニー大賞を受賞するまで(仮称)」(講師:青木建設(株)社長 青木一男) 以上					

創る

上流での連携や競争が促され、燃料調達コストの抑制や、地域の特色ある取組などが期待されます



大規模発電所



LNG基地

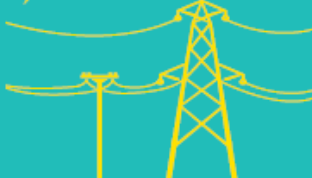


再生可能エネルギーなど地域の資源を活かした発電

送る

送配電網やガス導管は、参入する事業者が、誰でもより公平に使えるようになります

電気



都市ガス



送配電網は発電会社や小売会社とは別の会社が運用するなど、中立性を確保します。都市ガスについても、大手3社の導管は、ガス製造会社や小売会社とは別の会社が運用します。

売る

お住まいの地域にかかわらず、どの会社からでも、電気や都市ガスを買えるようになります



電力小売会社



ガス小売会社



携帯電話会社



インターネット接続事業者



住宅メーカー



通販サービス



家電量販店



グリーン電力

各種サービスとのセット販売など、新しい料金プランの創出が期待されます

選ぶ



小売各社から提供される様々なプランのイメージ

電力小売会社・ガス小売会社



電気とガスの同時契約による割引プラン

携帯電話会社



携帯料金とのセット契約割引プラン

通販サービス



ポイント付加プラン

住宅メーカー



住宅購入顧客への割引プラン

グリーン電力



エコ発電した電気を使うプラン

売る

[イメージ]最適な料金プランを探せるWEBサイト

最適な電気料金プランはどれか、いくらくらいの節約が期待できるのかをチェックしましょう。

▶ご契約中の電力会社	▶ご利用中のプラン名
●●●電力	従量電灯B
▶世帯人数	▶現在の電気代
4人	12,000円/月
▶電気をよく使う時間帯の割合	
<input type="range"/> 7:30 - 22:30 22:30 - 翌7:30	

最適な電気料金プランはどれか、いくらくらいの節約が期待できるのかをチェックしましょう。

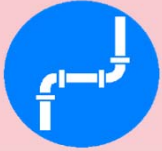
- ▶ご契約中の電力会社
- 電力
- ▶ご利用中のプラン
- 従量電灯B
- ▶世帯人数
- 4人

より便利に、使いやすく ガスシステム改革 を進めています。

給湯や調理だけでなく、発電も出来る都市ガスは、
環境に優しく、いざという時に頼れるエネルギー。
小売の全面自由化で、都市ガスの魅力を広げる。
それが、「ガスシステム改革」の目標です。



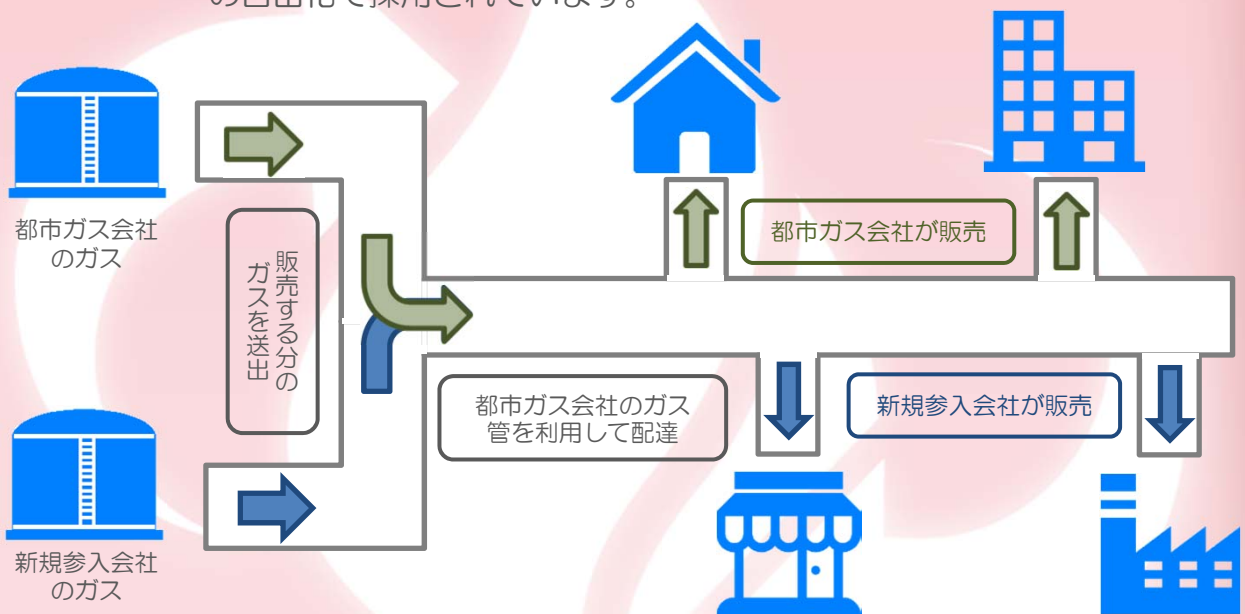
自由化のしくみ



今あるガス管を使って都市ガス会社以外の事業者もガス販売に参入できます。

都市ガス会社だけでなく、新たにガス販売に参入する事業者も既に敷設されたガス管を利用できるようにします。

新たな工事をすることなく、価格やサービス内容を競って様々な事業者がガス販売に参入できるしくみです。既に工場向けの小売販売の自由化で採用されています。



新たに参入する事業者もガス管を公平に使えるよう、利用料金は国が認可します。



都市ガスは安全が最優先です。ガス管の点検や緊急対応などの保安・管理は、これまでどおり都市ガス会社が行います。



販売会社の倒産などのトラブルが起こってもガス管を敷設した都市ガス会社からガスが供給されるセーフティネットを用意します。

自由化で広がるサービス



家庭や中小企業もガスを供給してもらう会社を選べるようになります

小売販売ビジネスへの新規参入が全面的に解禁されます。都市ガス会社以外の事業者からガスを供給してもらうことも可能になります。



ポイントサービスや定額制も・・・料金メニューが選べるようになります

小売全面自由化で、それぞれのガス会社が工夫した料金メニューの中から、サービスを選ぶことができます。



ガスと電気のセット割引も・・・エネルギー事業の垣根がなくなります

都市ガスの小売全面自由化で、主なエネルギーの販売が全て自由化されます。都市ガス会社や電力会社が都市ガスと電気のセット販売をできるようになります。



価格比較サイトで比べてその場で契約も・・・サービスを選びやすい環境整備を進めます

自分に適したサービスを簡単に選べるよう環境整備を進めます。小売販売の全面自由化を実施した欧米で広がっています。

これまでの自由化の流れ



工場向けの販売では自由化の成果が出ています。

同じ自由化のしくみで、ガスを大量に使う工場などへの販売は1995年から自由化されました。既に都市ガス販売の3分の2が自由化され、30社以上が新たに都市ガスビジネスに参入しました。

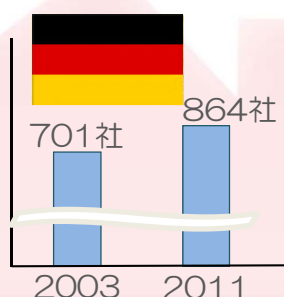
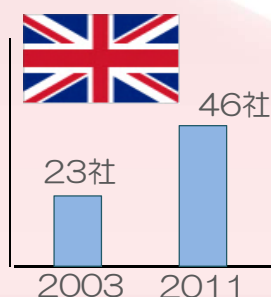


欧米では既にガス販売が全面的に自由化され実施されています。

都市ガスの利用が日本より多い欧米では、10年以上前から小売販売の全面的な自由化が始まりました。小売事業者の増加やサービス内容の多様化が生じています。



自由化後にガス会社は大幅に増加



【お問い合わせ】

資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 ガス市場整備課
TEL : 03-3501-2963 FAX : 03-3580-8541

【ガスシステム改革小委員会の審議内容を公表しています】

URL : http://www.meti.go.jp/committee/gizi_8/18.html